

2019年度 第1回理事会 議事録

日 時 2019年5月18日(土)13時30分～14時45分
場 所 北海道立総合体育センター 中研修室
出席者 生島典明、紺屋正雄、渋谷研一、大江憲一
黒田謙二、印藤智一、田中昌幸、沓沢幸一
丸山道博、浅野泰弘、櫻庭功一、碓井喜晴
家近昭彦、佐藤敏夫、川埜保幸、鎌田勝広
西谷清之、高橋克徳、宇野 要、柴田一徳
松野清佳、阿部 豊、前田賢一
川村俊明、高坂 猛

1. 開 会

※総務委員長が、理事33名中23名の出席があり理事会は成立することを報告した。

2. 会長あいさつ

2019年度第1回理事会にお集まりいただきお礼。本日はこの後年に一度の定時評議員会が開かれる。昨年度を振り返り、世界選手権女子大会をはじめ多くの事業が無事終了した。ヴォレアス北海道がV3で優勝し来期はV2での参戦となる。サフィルヴァ北海道も来期はV3への参戦が決定している。昨年9月に予定されていた日本マスターズが北海道胆振東部地震の影響により中止となった。被災地の皆様にお見舞い申し上げます。

昨年度は、小学生の大会をはじめたくさんの大会を観戦し、元気な北海道バレーと選手の頑張る姿をたくさん見ることができた。それぞれの運営にあたって頂きました本日お集まりのみなさんのおかげと感謝申し上げます。

今年度は6月に札幌と江別で開催の東日本インカレ、8月に旭川で6人制男子クラブカップ、9月にワールドカップ女子大会の開催が決まっており、多くの関係者にお世話になる。これら大会を成功に導くことで北海道のパレーポールを更に元気なものにすることは勿論のこと、ジュニア層の発掘や応援団の拡大にも繋がるものと確信しており、関係者全員で取り組んで参るのでご協力をよろしく願います。

さて、今日の理事会では、評議員会に提出する平成30年度の事業報告及び決算報告などについて審議いただくのでよろしく願います。

3. 議事録署名人に選出

※以降は、規約に基づき会長が議長を務める

議事録署名人に生島会長の外、中体連前田理事、印藤副理事長の2名を指名する。

※総務委員長より資料の確認と下記のように訂正の説明がある。

1 ページ：次第 4. 協議事項の監査報告書の後に「(2)役員選任の件」「(3)その他」を追加、理事会レジュメも同様の訂正がある

4. 協議事項

(1) 平成 30 年度事業報告及び決算書類等承認について

○評議員会資料に基づき、理事長が協会運営の基本方針に沿った各委員会の取り組みについて、各委員会が委員会事業について報告する。また、総務委員長が平成 30 年度一般会計決算・特別会計決算委について報告し、すべて承認される。

なお、主な説明の内容及び質疑は次のとおり。

①事業報告関連

- ・理事長 強化委員会で時間と労力をかけて進めている強化活動と指導普及委員会と一体的な取り組みの結果、国体少年女子で競技得点を獲得したが、昨年度も倫理案件が後を絶たず、地区連盟、各委員会も含め撲滅に向けて取り組んでいく。
- ・総務委員会 取り組みについては、世界選手権大会ではメディアの露出が少なかった点を反省、事業報告は各種会議、健全な財政運営、新 MRS 登録、大会参加一覧、登録一覧は記載の通り。
- ・競技委員会 取り組みについては、世界選手権大会ではスムーズな運営ができた。6・9 総合大会は大会の工夫で参加数が増えた。事業報告は記載のとおり。
- ・審判委員会 取り組みについては、世界選手権大会に向けて各部署の育成を行い、若手審判員の発掘育成を行った。事業報告は A 級候補の藤井、川島両氏は 3/1 付けで A 級審判員となる。
- ・指導普及委員会 取り組みについては、ジュニアキャンプ事業を通じ競技者拡大を目指しているが少子高齢化の影響、指導者不足等により競技人口は減っている。事業報告は記載のとおり。
- ・強化委員会 取り組みについては、小中高大の一貫指導は指導普及部と連携を取りながら進めている。事業報告は記載のとおり。北海道体育協会競技力向上事業の報告がある。

②決算報告関連

- ・全体の収入増減は 1,088,468 円の増となっており、特に繰越金、登録料、新 MRS 配賦金が増額となっている。減額では雑収入と賦課金の減額が多くなっており、収入合計は 18,618,468 円となる。支出はほぼ予算通りの執行となっており、総務委員会費の印刷製本費の削減、会議費の減額で、支出合計は 16,902,844 円となり、収入から支出を引いた残金 1,715,624 円は 2019 年度に繰り越しとなる。
- ・特別会計決算の報告があり、財政調整基金は増減なし、特別事業等基金は世界選手権大会の貸付金が戻り、そのままワールドカップ運営費に貸し付けた。強化・育成基金は収入が繰越金、利息、総合大会参加料で 5,570,362 円、支出合計は各事業合計で 2,515,269 円となり、次年度に 3,055,093 円を繰越金となる。
- ・2018 女子バレーボール世界選手権札幌大会決算書の報告があり、収入合計 17,026,910 円から支出合計 15,860,987 円を差し引いた残額 1,165,923 円は 2019 年度強化・育成基金に繰り入れる。

質疑が無く、2019 年度事業報告及び決算書類を評議員会へ提案することに決定した。

(2) 役員選任の件

○5月2日に行われた役員等選考委員会結果に基づき、評議員会に提出する。選考委員会には紺屋副会長が議長となり、評議員・理事選考ガイドラインに沿って選考した。基本的な考え方として、評議員・理事数は原則として1:2とする。評議員を複数年務めた方には理事も経験してもらう。会長指名理事となった者は地区の選考から除く。その結果、評議員9名を選定し、理事候補者25名を選考し評議員会へ提案することを決定した。

～承認

5. 報告事項

(1) 2019 ワールドカップ女子札幌大会について

○4月に対戦相手も決まらない中、先行予約販売をしたが各地区協会、各加盟団体からたくさんの申込みがある。対戦相手は5月17日17時に承認され、9/22はドミニカ共和国×ケニア、中国×ブラジル、日本×アメリカ、9/23はドミニカ共和国×ブラジル、中国×アメリカ、日本×ケニア、9/24はドミニカ共和国×アメリカ、中国×ケニア、日本×ブラジルとなった。まだ席に余裕があるので、今後も入場券販売の協力をお願いします。

(2) 日本協会関連

○4/23にJVA臨時理事会があり、5月1日付でVリーグ機構がJVAの加盟団体となり、加盟団体規定に記載される。また、特定非営利活動法人日本混合バレーボール連盟が準加盟団体として理事会で認められる。登録及び登録料に関する規定の説明がある。

○5/29にワールドカップの実行委員会及び6/28ブロック理事長会議、全国加盟団体代表委員総会に出席し、大村暢彦氏の功労者表彰が予定されている。

○2019年度全日本代表男子登録メンバーに出来田敬氏と山本智大氏が選出された。

(4) 各委員会関連

①総務委員会

- ・北海道スポーツ協会の功労者表彰に常任理事会で高坂監事を推薦していたところ、今回受賞が決定し、6/18の会議で功労者表彰を行うことになり高坂監事が出席する。
- ・役員のみMRS役員登録について説明があり、新年度各都道府県連盟の徴収については自由となったため、役員のみ登録料はMRS上0円に設定し、登録料は北海道協会納付分MAX2000円（他の登録料の差額分）を直接徴収することを9月の理事会に提案する。

②競技委員会

- ・2020年ヴィンテージ大会を10/30～11/1に函館で開催を予定している。2021年9人制社会人東ブロックは帯広協会に要請中。

(5) その他の報告

○今年度より学連登録の北海道協会分は地区の登録料とは別にMRSから請求されている。


東日本インカレが女子49チーム、男子51チームの参加で開催される。


6. その他

- ヴォレアス北海道の加藤伊織氏、サフィルヴァ北海道の辻井淳一氏から今年度の報告と来シーズンの豊抱負と挨拶がある。
- 碓井常任理事より役員退任の挨拶がある。

7. 閉会

【次回：令和元年9月7日（土）13:30～ 北海きたえーる】

議事録署名人 会長 金島典明 

議事録署名人 前田 賢一 

議事録署名人 印藤 智一 